

別冊

平成19年3月期  
決算説明資料

株式会社 千葉銀行

## 【 目 次 】

・平成19年3月期決算の概要	-	
1. 総括	-	1
(1) 損益の概要	単	
(2) 自己資本比率	連・単	
(3) 金融再生法開示債権	単	
(4) 貸出金・預金（末残）	単	
2. 損益	-	2
(1) 業務純益	単	
(2) 経常利益・当期純利益	単	3
3. 経営指標	単	3
4. 運用・調達	-	4
(1) 貸出金・預金（末残）	単	
(2) 有価証券（末残）	単	5
5. 資産の状況	単	5
6. 平成20年3月期収益見込み等	単・連	6
・平成19年3月期決算資料	-	
1. 損益状況	単・連	7
2. 業務純益	単	9
3. 利鞘（国内業務部門）	単	9
4. 有価証券関係損益	単	9
5. 自己資本比率（国際統一基準）	連・単	10
6. ROE	単	10
7. 預金、貸出金の残高	-	11
(1) 残高	単	
(2) 国内貸出金内訳（末残）及び 中小企業等貸出比率	単	
(3) 消費者ローン残高	単	
8. リスク管理債権の状況	単・連	12
9. リスク管理債権に対する引当率・カバー率	単・連	13
10. 金融再生法開示債権	単	13
11. 金融再生法開示債権の保全状況	単	14
12. 貸倒引当金等の状況	-	15
(1) 償却・引当基準	単・連	
(2) 貸倒引当金等の内訳	単・連	
13. 業種別貸出状況等	-	16
(1) 業種別貸出金	単	
(2) 業種別リスク管理債権	単	
14. 国別貸出状況等	-	17
(1) 特定海外債権残高	単	
(2) アジア向け貸出金	単	
(3) 中南米主要諸国及びロシア向け貸出金	単	
15. 有価証券の評価損益	-	18
(1) 有価証券の評価基準	単・連	
(2) 評価損益	単・連	

## 平成 19 年 3 月期決算の概要

### 1. 総括

銀行の収益を表す基本的な指標であります業務純益（一般貸引繰入前）は、前期比 19 億円増益の 772 億円となりました。

経常利益は前期比 24 億円増益の 713 億円、当期純利益は前期比 33 億円増益の 501 億円となりました。

業務純益（一般貸引繰入前）及び経常利益は 3 期連続、当期純利益は 4 期連続して最高益を更新いたしました。

連結自己資本比率は 11.63%、単体自己資本比率は 11.20% となり、Tier 比率は連結・単体ともに 9% を超えました。なお、自己資本比率は、今期より新基準で算出しております。

また、金融再生法開示債権は、前期末比 240 億円減少し 2,023 億円となりました。

貸出金未残は前期末比 2,400 億円増加の 6 兆 4,075 億円、預金未残は前期末比 3,624 億円増加の 8 兆 3,715 億円となりました。

#### (1) 損益の概要

(単位：億円、%)

	19 年 3 月期			18 年 3 月期	18 年 11 月 公表予想値
		18 年 3 月期比	(増減率)		
経常収益	2,280	307	(15.5)	1,972	2,200
<b>業務純益(一般貸引繰入前)</b>	<b>772</b>	<b>19</b>	<b>(2.6)</b>	<b>752</b>	<b>(810) 810</b>
一般貸倒引当金繰入額	-	-		-	-
業務純益	772	19	(2.6)	752	-
臨時損益	58	4		63	-
うち不良債権処理額	139	27		111	-
<b>経常利益</b>	<b>713</b>	<b>24</b>	<b>(3.6)</b>	<b>688</b>	<b>(670) 700</b>
特別損益	112	8		121	-
うち貸倒引当金戻入益	75	17		92	-
<b>当期純利益</b>	<b>501</b>	<b>33</b>	<b>(7.2)</b>	<b>467</b>	<b>(405) 480</b>

(注) 18 年 11 月公表予想値欄の ( ) 書は、中期経営計画の 18 年度目標計数。

信用コスト(+ -)	63	44		18	-
------------	----	----	--	----	---

#### (2) 自己資本比率

(単位：%)

	19 年 3 月末		18 年 3 月末	中期経営計画 18 年度目標計数
		18 年 3 月末比		
連結自己資本比率	11.63	0.43	11.19	-
Tier 比率	9.68	1.32	8.36	-
単体自己資本比率	11.20	0.37	10.83	-
Tier 比率	9.29	1.23	8.05	8% 以上

#### (3) 金融再生法開示債権

(単位：億円、%)

	19 年 3 月末			18 年 3 月末
		18 年 3 月末比	(増減率)	
合計額	2,023	240	(10.6)	2,264
不良債権比率	3.08	0.51		3.60

#### (4) 貸出金・預金(未残)

(単位：億円、%)

	19 年 3 月末			18 年 3 月末
		18 年 3 月末比	(増減率)	
貸出金	64,075	2,400	(3.8)	61,674
預金	83,715	3,624	(4.5)	80,091

## 2. 損 益

### (1) 業務純益

業務純益（一般貸引繰入前）は772億円と、前期比19億円増加しました。内訳は、業務粗利益が45億円増加する一方、経費の増加を25億円に止めました。

国内業務粗利益は前期比123億円増加しました。資金利益が貸出金の残高増加等により前期比82億円増加したほか、役務取引等利益が投資信託等の預かり資産の増強により前期比17億円の増加と引き続き堅調でした。

一方、国際業務粗利益は、ポートフォリオの見直しによる含み損を有する外国債券の売却を行ったことなどにより前期比78億円減少しました。

経費は、新たなマーケットへの店舗展開を加速していること、また、ICキャッシュカードへ生体認証機能の導入、ポイントサービスの開始など、お客さまに安心・安全にお取引いただくためサービスの充実に努めました結果、物件費が前期比12億円増加、人件費が前期比10億円増加となりました。

なお、業務純益（一般貸引繰入前）から債券関係損益を控除したコア業務純益は、前期比88億円増加し832億円となりました。

（単位：億円、％）

	19年3月期		（増減率）	18年3月期
		18年3月期比		
<b>業 務 粗 利 益</b>	<b>1,551</b>	<b>45</b>	<b>( 3.0)</b>	<b>1,505</b>
国内業務粗利益	1,561	123		1,438
資金利益	1,299	82		1,217
役務取引等利益	212	17		195
うち投信取扱手数料	93	24		68
特定取引利益	20	5		15
その他業務利益	28	18		10
うち債券関係損益	10	6		17
国際業務粗利益	10	78		67
うち債券関係損益	71	62		9
<b>経 費</b>	<b>779</b>	<b>25</b>	<b>( 3.3)</b>	<b>753</b>
人件費	369	10		358
物件費	365	12		352
税金	44	2		42
<b>業務純益（一般貸引繰入前）</b>	<b>772</b>	<b>19</b>	<b>( 2.6)</b>	<b>752</b>
<b>コア業務純益</b>	<b>832</b>	<b>88</b>	<b>( 11.8)</b>	<b>744</b>
一般貸倒引当金純繰入額	-	-		-
<b>業 務 純 益</b>	<b>772</b>	<b>19</b>	<b>( 2.6)</b>	<b>752</b>

（注）コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金純繰入額 - 債券関係損益

（参 考）

店 舗 数	170 か店	7 か店	163 か店
うち出張所	20 か店	4 か店	16 か店
両替出張所・海外駐在員事務所	4 か所	1 か所	3 か所
従 業 員 数	3,833 人	100 人	3,733 人

（注）1. 出張所には、地区法人営業所を含めております。

2. 従業員数には、出向者を含み、臨時従業員及び嘱託を含んでおりません。

## (2) 経常利益・当期純利益

経常利益は、不良債権処理額が前期比 27 億円増加しましたが、業務純益の増加及び株式等関係損益の増加などにより前期比 24 億円増加の 713 億円となりました。

また、貸倒引当金繰入額の合計が取崩超過となったため、貸倒引当金戻入益 75 億円を特別損益に計上しております。

これらの結果、当期純利益は前期比 33 億円増加の 501 億円となりました。

(単位：億円、%)

	19年3月期	18年3月期比 (増減率)		18年3月期
<b>業務純益 (一般貸引繰入前)</b>	<b>772</b>	<b>19</b>	<b>( 2.6)</b>	<b>752</b>
一般貸倒引当金純繰入額	-	-		-
業務純益	772	19	( 2.6)	752
臨時損益	58	4		63
うち不良債権処理額	139	27		111
うち株式等関係損益	49	21		28
<b>経常利益</b>	<b>713</b>	<b>24</b>	<b>( 3.6)</b>	<b>688</b>
特別損益	112	8		121
うち貸倒引当金戻入益	75	17		92
うち償却債権取立益	42	2		40
<b>当期純利益</b>	<b>501</b>	<b>33</b>	<b>( 7.2)</b>	<b>467</b>
信用コスト (+ - )	63	44		18
実質信用コスト (+ - - )	20	42		21

## 3. 経営指標

経営効率性を示す指標であるOHRは 48.82%、資産の運用効率すなわち、収益性を示す総資産利益率ROAは 0.51%となりました。また、株主資本利益率ROEは 9.21%となりました。

すべての経営指標は、中期経営計画の目標を達成いたしました。

(単位：%)

	19年3月期	18年3月期比	18年3月期	中期経営計画 18年度目標計数
	O H R 1	48.82	1.13	49.95
R O A 2	0.51	0.00	0.51	0.4%以上
R O E 3	9.21	0.87	10.08	8.5%以上

$$1 \text{ OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務純益} - \text{債券関係損益等} + \text{一般貸倒引当金純繰入額} + \text{経費}} \quad (\text{低いほど効率性が高い})$$

$$2 \text{ ROA} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{総資産平残}}$$

$$3 \text{ ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{(\text{期首資本の部合計} + \text{期末純資産の部合計}) \div 2}$$

## 4. 運用・調達

貸出金は、お客様のニーズに積極的にお応えすることにより、前期末比事業者向け貸出が2,271億円増加、住宅ローンが1,293億円増加、全体で前期末比2,400億円増加し6兆4,075億円となりました。

預金は、個人預金を中心に前期末比3,624億円増加し8兆3,715億円となりました。また、預かり資産の増強に努めました結果、投資信託は前期末比1,320億円増加し、残高は5,761億円となりました。個人年金保険等の取扱保険料も589億円と堅調でした。

有価証券は、評価損益を除くベースで、前期末比2,213億円の減少となりました。引き続き運用の多様化を図りつつ金利上昇リスクに留意しております。

## (1) 貸出金・預金(未残)

(単位：億円)

	19年3月末	18年3月末	
		18年3月末比	18年3月末
貸出金	64,075	2,400	61,674
国内向け貸出	63,771	2,292	61,478
事業者向け貸出	37,403	2,271	35,131
消費者ローン	21,400	1,229	20,171
うち住宅ローン	20,221	1,293	18,927
公共向け貸出	4,967	1,208	6,175
うち県内向け貸出	51,017	1,673	49,343
うち中小企業等貸出	50,256	2,491	47,764
(中小企業等貸出比率)	(78.80%)	(1.11%)	(77.69%)
海外向け貸出	303	107	195
預金	83,715	3,624	80,091
うち県内	79,120	3,440	75,680
うち個人	61,072	2,245	58,827

(参考)

・投資信託等

(単位：億円)

	19年3月末	18年3月末	
		18年3月末比	18年3月末
投資信託残高	5,761	1,320	4,441
うち個人	5,664	1,307	4,357
うち株式投資信託	5,605	1,354	4,250

(単位：億円)

	19年3月期	18年3月期	
		18年3月期比	18年3月期
個人年金保険等(取扱保険料)	589	138	727
うち変額保険	555	9	564
個人年金保険等(取扱手数料)	24	2	26
うち変額保険	23	0	24

## (2) 有価証券(未残)

(単位:億円)

	19年3月末	18年3月末比		18年3月末
		18年3月末比	18年3月末	
有価証券	23,184	2,213	25,398	
国債	7,270	118	7,152	
株式	1,483	42	1,440	
社債他	9,532	812	10,344	
外貨建有価証券	4,897	1,562	6,460	
円貨債券の平均残存期間	2.6年	0.5年	3.1年	

- (注) 1. 評価損益を除いた取得原価で表示しております。  
 2. 平均残存期間は、短期国債を除いて表示しております。  
 3. 有価証券の含み損益は19年3月末965億円、18年3月末942億円です。

## 5. 資産の状況

金融再生法開示債権は、前期末比240億円減少し2,023億円となりました。引当金を含む保全率は、全体で71.8%、危険債権で84.3%、要管理債権で54.3%の水準であり、今後の損失発生懸念は限定的なものとなっております。  
 なお、不良債権比率は前期末比0.51%低下し、3.08%となりました。

## &lt; 金融再生法開示債権 &gt;

(単位:百万円)

	19年3月末	18年3月末比		18年3月末
		18年3月末比	18年3月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,044	1,655	25,389	
危険債権	77,135	13,250	90,385	
要管理債権	98,171	12,478	110,650	
合計	202,350	24,074	226,424	

正常債権	6,352,467	291,940	6,060,527
不良債権比率	3.08%	0.51%	3.60%
保全率	71.8%	0.50%	71.3%

## (参考) 保全内訳

(単位:百万円、%)

	債権額 A	担保・保証 B	貸倒引当金 C	引当率 <sup>2</sup> C/(A-B)	保全率 (B+C)/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,044	23,086	3,957	100.0	100.0
危険債権	77,135	42,260	22,803	65.3	84.3
要管理債権	98,171	136,002	17,332	27.8	54.3
合計	202,350	101,348	44,093	43.6	71.8

1. 概算数値。  
 2. 引当率は、無担保・無保証部分に対する貸倒引当金の計上割合。

## 6 . 平成 20 年 3 月期収益見込み等

( 単位 : 億円 )

	20 年 3 月期 ( 通期 )	
		19 年 9 月中間期見込み
経 常 収 益	2,400	1,200
業務純益 ( 一般貸引繰入前 )	870	420
経 常 利 益	850	430
当 期 純 利 益	530	265

	20 年 3 月期 ( 通期 )	
	中	間
1 株 当 た り 配 当 金	5 円 50 銭	11 円 00 銭

## &lt; 連結決算の概要 &gt;

( 単位 : 億円、% )

	19 年 3 月期	18 年 3 月期比 ( 増減率 )		18 年 3 月期	18 年 11 月 公表予想値
経 常 収 益	2,627	312	( 13.4 )	2,315	2,550
経 常 利 益	819	28	( 3.5 )	791	800
当 期 純 利 益	525	36	( 7.3 )	489	( 440 ) 505

( 注 ) 18 年 11 月公表予想値欄の ( ) 書は、中期経営計画の 18 年度目標計数。

## &lt; 連結決算平成 20 年 3 月期収益見込み &gt;

( 単位 : 億円 )

	20 年 3 月期 ( 通期 )	
		19 年 9 月中間期見込み
経 常 収 益	2,720	1,360
経 常 利 益	900	455
当 期 純 利 益	555	275

## 平成 19 年 3 月期決算資料

## 1. 損益状況

【単体】

(単位：百万円)

	19 年 3 月期		18 年 3 月期
		18 年 3 月期比	
業 務 粗 利 益	155,122	4,548	150,574
国内業務粗利益	156,183	12,377	143,805
資金利益	129,993	8,251	121,741
役務取引等利益	21,230	1,702	19,527
特定取引利益	2,070	537	1,532
その他業務利益	2,888	1,885	1,003
国際業務粗利益	1,060	7,829	6,768
資金利益	2,422	2,093	4,516
役務取引等利益	236	77	158
特定取引利益	271	152	424
その他業務利益	3,991	5,661	1,669
経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )	77,912	2,555	75,357
人 件 費	36,910	1,047	35,862
物 件 費	36,572	1,285	35,286
税 金	4,430	222	4,207
業 務 純 益 ( 一 般 貸 引 繰 入 前 )	77,209	1,992	75,216
一 般 貸 倒 引 当 金 純 繰 入 額	( 8,718 )	( 1,245 )	( 7,473 )
コ ア 業 務 純 益	83,278	8,845	74,432
業 務 純 益	77,209	1,992	75,216
臨 時 損 益	5,893	494	6,388
不 良 債 権 処 理 額	13,909	2,729	11,180
貸 出 金 償 却	14,069	2,328	11,740
個 別 貸 倒 引 当 金 純 繰 入 額	( 1,168 )	( 2,966 )	( 1,798 )
延 滞 債 権 等 売 却 損	159	400	559
特 定 海 外 債 権 引 当 勘 定 繰 入 額	( 40 )	( 18 )	( 21 )
株 式 等 関 係 損 益	4,961	2,117	2,844
退 職 給 付 費 用 ( 臨 時 費 用 処 理 分 )	994	401	1,396
そ の 他 臨 時 損 益	4,048	704	3,343
経 常 利 益	71,316	2,487	68,828
特 別 損 益	11,266	853	12,119
う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	7,590	1,703	9,293
う ち 償 却 債 権 取 立 益	4,250	215	4,034
う ち 減 損 損 失	107	716	824
税 引 前 当 期 純 利 益	82,582	1,633	80,948
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	30,177	11,935	18,242
法 人 税 等 調 整 額	2,272	13,678	15,950
当 期 純 利 益	50,131	3,376	46,754
信用コスト ( + - )	6,319	4,432	1,886
実質信用コスト ( + - - )	2,069	4,216	2,147

## 【連結】

&lt; 連結損益計算書ベース &gt;

(単位：百万円)

	19年3月期	18年3月期比	18年3月期
	連結粗利益	169,054	2,920
資金利益	134,619	5,705	128,914
役務取引等利益	32,654	694	31,959
特定取引利益	2,878	300	2,577
その他業務利益	1,097	3,781	2,683
営業経費	85,142	1,692	83,450
貸倒償却引当費用	14,643	1,999	12,644
貸出金償却	14,606	1,533	13,073
個別貸倒引当金純繰入額	( 5,505 )	( 5,178 )	( 327 )
一般貸倒引当金純繰入額	( 8,720 )	( 4,051 )	( 4,668 )
延滞債権等売却損	36	466	429
特定海外債権引当勘定繰入額	( 40 )	( 18 )	( 21 )
株式等関係損益	5,892	2,964	2,928
持分法による投資損益	221	12	209
その他	6,572	641	5,931
経常利益	81,955	2,846	79,109
特別損益	6,968	129	7,097
うち貸倒引当金戻入益	3,255	1,108	4,363
うち償却債権取立益	4,306	221	4,084
うち減損損失	107	716	824
税金等調整前当期純利益	88,923	2,717	86,206
法人税、住民税及び事業税	32,444	12,149	20,295
法人税等調整額	2,089	12,820	14,909
少数株主利益	1,851	222	2,073
当期純利益	52,538	3,610	48,927

信用コスト ( - )	11,388	3,107	8,280
実質信用コスト ( - - )	7,082	2,885	4,196

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益 (一般貸引繰入前)	89,794	2,178	87,615
連結業務純益	89,794	2,178	87,615

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社粗利益 - 子会社営業経費・一般貸倒引当金純繰入額  
- 内部取引

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	11	1	10
持分法適用会社数	4	-	4

## 2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	19年3月期	18年3月期	
		18年3月期比	18年3月期
(1) 業務純益(一般貸引繰入前)	77,209	1,992	75,216
職員一人当たり(千円)	21,399	258	21,657
(2) 業務純益	77,209	1,992	75,216
職員一人当たり(千円)	21,399	258	21,657

(注) 職員数は、実働人員(出向人員、臨時雇員及び嘱託を除く)の平残。

## 3. 利鞘(国内業務部門)【単体】

(単位：%)

	19年3月期	18年3月期	
		18年3月期比	18年3月期
(1) 資金運用利回(A)	1.65	0.04	1.60
(イ) 貸出金利回(B)	1.92	0.04	1.88
(ロ) 有価証券利回	0.94	0.17	0.76
(2) 資金調達原価(C)	1.00	0.06	0.93
(イ) 預金等利回(D)	0.09	0.07	0.01
(ロ) 経費率	0.95	0.00	0.94
(3) 総資金利鞘(A)-(C)	0.65	0.02	0.67
預貸金利差(B)-(D)	1.83	0.04	1.87

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	19年3月期	18年3月期	
		18年3月期比	18年3月期
国債等債券損益	6,069	6,853	784
売却益	1,254	1,216	2,470
償還益	-	-	-
売却損	7,323	5,637	1,686
償還損	-	-	-
償却	-	-	-
株式等関係損益	4,961	2,117	2,844
売却益	5,618	2,398	3,220
売却損	485	297	188
償却	170	16	187

## 5. 自己資本比率（国際統一基準）

自己資本比率は、19年3月期より新基準（バーゼル）（「銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式」）で算出しております。

## 【連結】

（単位：億円）

	19年3月末		18年9月末	18年3月末
	[速報値]	18年9月末比		
(1) 自己資本比率	11.63 %	0.67 %	0.43 %	10.95 %
うちTier 比率	9.68 %	1.17 %	1.32 %	8.51 %
(2) Tier	5,031	-	-	4,957
(3) Tier	1,234	-	-	1,450
(イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益	442	-	-	375
(ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額	104	-	-	104
(ハ) うち劣後ローン（債券）残高	630	-	-	630
(4) 控除項目	223	-	-	26
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	6,041	-	-	6,381
(6) リスクアセット	51,951	-	-	58,249

（注）従来の基準で算出した連結自己資本比率 11.11%

## 【単体】

（単位：億円）

	19年3月末		18年9月末	18年3月末
	[速報値]	18年9月末比		
(1) 自己資本比率	11.20 %	0.62 %	0.37 %	10.57 %
うちTier 比率	9.29 %	1.11 %	1.23 %	8.17 %
(2) Tier	4,747	-	-	4,727
(3) Tier	1,175	-	-	1,391
(イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益	432	-	-	366
(ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額	104	-	-	104
(ハ) うち劣後ローン（債券）残高	630	-	-	630
(4) 控除項目	199	-	-	6
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	5,723	-	-	6,113
(6) リスクアセット	51,076	-	-	57,807

（注）従来の基準で算出した単体自己資本比率 10.67%

新たな自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

信用リスクに関する手法：基礎的内部格付手法（行内格付を利用してリスクを計測する手法）

オペレーショナル・リスクに関する手法：粗利益配分手法（業務区分毎の粗利益に一定割合を乗じる手法）

## 6. ROE 【単体】

（単位：%）

	19年3月期		18年9月期	18年3月期
		18年9月期比		
業務純益ベース（年率）	14.19	0.47	2.03	14.66
当期純利益ベース（年率）	9.21	0.09	0.87	9.30

（注）ROEとは、株主資本の収益性を示す指標

## 7. 預金、貸出金の残高

## (1) 残高【単体】

(単位：億円)

	19年3月期	18年9月期比		18年9月期	18年3月期
		18年9月期比	18年3月期比		
預 金 (未 残)	83,715	3,623	3,624	80,092	80,091
うち 国 内	81,469	3,317	3,479	78,152	77,990
うち 県 内	79,120	3,685	3,440	75,435	75,680
うち 個 人	61,072	1,559	2,245	59,513	58,827
うち 公 共	4,419	1,305	215	3,114	4,203
預 金 (平 残)	80,633	466	2,862	80,166	77,771
うち 国 内	78,359	279	2,277	78,079	76,082
うち 県 内	76,089	235	2,154	75,853	73,934
貸 出 金 (未 残)	64,075	354	2,400	63,720	61,674
うち 国 内	63,771	300	2,292	63,470	61,478
うち 県 内	51,017	788	1,673	50,228	49,343
貸 出 金 (平 残)	63,281	535	3,558	62,745	59,722
うち 国 内	63,025	510	3,471	62,515	59,554
うち 県 内	50,036	231	1,843	49,805	48,192

## (2) 国内貸出金内訳(未残)及び中小企業等貸出比率【単体】

(単位：億円)

	19年3月末	18年9月末比		18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
国 内 貸 出 金 (A)	63,771	300	2,292	63,470	61,478
(除 公 共 向 け 貸 出)	(58,804)	(1,693)	(3,500)	(57,110)	(55,303)
大 企 業	6,900	80	979	6,819	5,920
中 堅 企 業	1,647	32	29	1,679	1,618
中 小 企 業 等 (B)	50,256	1,644	2,491	48,611	47,764
うち 中 小 企 業	28,855	732	1,262	28,122	27,592
うち 消 費 者 ロ ー ン	21,400	911	1,229	20,488	20,171
公 共	4,967	1,392	1,208	6,360	6,175

中小企業等貸出比率(B/A)	78.80%	2.21%	1.11%	76.58%	77.69%
----------------	--------	-------	-------	--------	--------

(注) 中小企業には個人事業主を含む。

## (3) 消費者ローン残高【単体】

(単位：億円)

	19年3月末	18年9月末比		18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
消 費 者 ロ ー ン 残 高	21,400	911	1,229	20,488	20,171
住 宅 ロ ー ン 残 高	20,221	950	1,293	19,270	18,927
そ の 他 の ロ ー ン 残 高	1,179	38	64	1,218	1,244

## 8. リスク管理債権の状況 - 自己査定基準 部分直接償却実施(前・後) -

## 【単体】

(単位:百万円)

		19年3月末		18年9月末	18年3月末
			18年9月末比	18年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	3,009	976	357	3,985
	延滞債権額	100,489	5,250	11,632	105,739
	3ヵ月以上延滞債権額	9,075	1,226	3,000	10,302
	貸出条件緩和債権額	89,095	5,851	15,478	94,946
	合計	201,670	13,303	24,468	214,974

貸出金残高(未残)	6,407,516	35,457	240,079	6,372,058	6,167,437
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.04	0.01	0.00	0.06
	延滞債権額	1.56	0.09	0.24	1.65
	3ヵ月以上延滞債権額	0.14	0.02	0.04	0.16
	貸出条件緩和債権額	1.39	0.09	0.30	1.49
	合計	3.14	0.22	0.51	3.37

## 【連結】

(単位:百万円)

		19年3月末		18年9月末	18年3月末
			18年9月末比	18年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	3,122	1,094	427	4,217
	延滞債権額	102,800	5,206	11,683	108,007
	3ヵ月以上延滞債権額	9,075	1,226	3,000	10,302
	貸出条件緩和債権額	89,198	5,856	15,488	95,055
	合計	204,197	13,384	24,598	217,582

貸出金残高(未残)	6,377,598	35,679	237,932	6,341,918	6,139,665
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.04	0.01	0.00	0.06
	延滞債権額	1.61	0.09	0.25	1.70
	3ヵ月以上延滞債権額	0.14	0.02	0.04	0.16
	貸出条件緩和債権額	1.39	0.10	0.30	1.49
	合計	3.20	0.22	0.52	3.43

## 9. リスク管理債権に対する引当率・カバー率

【単体】

(単位：百万円、%)

	19年3月末	18年		18年9月末	18年3月末
		9月末比	3月末比		
リスク管理債権額 (A)	201,670	13,303	24,468	214,974	226,138
担保・保証等 (B)	101,109	4,183	7,786	105,293	108,896
貸倒引当金 (C)	43,791	3,761	8,655	47,552	52,446
引当率 (C)/(A)	21.7	0.4	1.4	22.1	23.1
保全率 (B+C)/(A)	71.8	0.7	0.5	71.0	71.3
貸出金残高比	3.14	0.22	0.51	3.37	3.66

【連結】

(単位：百万円、%)

	19年3月末	18年		18年9月末	18年3月末
		9月末比	3月末比		
リスク管理債権額 (A)	204,197	13,384	24,598	217,582	228,796
担保・保証等 (B)	102,187	4,050	7,866	106,238	110,054
貸倒引当金 (C)	44,806	3,836	8,623	48,642	53,430
引当率 (C)/(A)	21.9	0.4	1.4	22.3	23.3
保全率 (B+C)/(A)	71.9	0.8	0.5	71.1	71.4
貸出金残高比	3.20	0.22	0.52	3.43	3.72

## 10. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位：百万円)

	19年3月末	18年		18年9月末	18年3月末
		9月末比	3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,044	1,000	1,655	28,044	25,389
危険債権	77,135	5,213	13,250	82,348	90,385
要管理債権	98,171	7,077	12,478	105,249	110,650
合計	202,350	13,291	24,074	215,641	226,424

総与信残高	6,554,818	46,669	267,866	6,508,148	6,286,952
-------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

総与信残高：貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息及び仮払金、支払承諾見返、有価証券中の当行保証付私募社債

## 11. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位：百万円)

	19年3月末	18年9月末比		18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
保 全 額 (A)	145,442	7,923	16,167	153,366	161,610
貸倒引当金	44,093	3,739	8,426	47,833	52,520
担保・保証等	101,348	4,184	7,741	105,532	109,090
金融再生法開示債権合計 (B)	202,350	13,291	24,074	215,641	226,424

(単位：%)

保 全 率 (A) / (B)	71.8	0.7	0.5	71.1	71.3
-----------------	------	-----	-----	------	------

(参考) 自己査定結果 (債務者区分別)

【単体】

(単位：百万円)

	19年3月末	18年9月末比		18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
破綻先債権 (A)	3,169	902	273	4,072	3,443
実質破綻先債権 (B)	23,874	97	1,928	23,972	21,945
破綻懸念先債権 (C)	77,135	5,213	13,250	82,348	90,385
要注意先債権 (D)	990,506	16,121	44,049	1,006,628	946,456
要管理先債権	116,670	7,394	13,766	124,065	130,436
うち要管理債権(貸出金のみ)	98,171	7,077	12,478	105,249	110,650
その他要注意先債権	873,835	8,727	57,815	882,563	816,019
正常先債権 (E)	5,460,133	69,005	235,412	5,391,127	5,224,720
総与信残高 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6,554,818	46,669	267,866	6,508,148	6,286,952

## 12. 貸倒引当金等の状況

## (1) 償却・引当基準

## 一般貸倒引当金計上基準

自己査定における区分	引 当 基 準
正常先債権	過去の貸倒実績率に基づき今後1年間の予想損失額を算出し、引当金を計上
要注意先債権	原則として、過去の貸倒実績率に基づき今後1年間の予想損失額を算出し、引当金を計上
要管理先債権	過去の貸倒実績率に基づき今後3年間の予想損失額を算出し、引当金を計上 与信額10億円以上の先について、キャッシュ・フロー見積法(DCF法)により、引当金を計上

## 個別貸倒引当金計上基準

自己査定における区分	引 当 基 準
破綻懸念先債権	原則として、過去の貸倒実績率に基づき今後3年間の予想損失額を算出し、引当金を計上 与信額10億円以上の先について、キャッシュ・フロー見積法(DCF法)により、引当金を計上
破綻先・実質破綻先債権	担保等で保全されていない債権額の100%

## (2) 貸倒引当金等の内訳

## 【単体】

(単位：億円)

	19年3月末			18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
貸 倒 引 当 金	546	34	136	580	682
一般貸倒引当金	274	16	87	291	361
個別貸倒引当金	271	17	49	288	320
特定海外債権引当勘定	-	-	0	-	0

## (参考) 一般貸倒引当金対象債権

(単位：億円)

	19年3月末			18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
正 常 先 債 権	51,189	1,914	3,279	49,275	47,910
要 注 意 先 債 権	9,905	161	440	10,066	9,464
要 管 理 先 債 権	1,166	73	137	1,240	1,304
その他要注意先債権	8,738	87	578	8,825	8,160

## 【連結】

(単位：億円)

	19年3月末			18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
貸 倒 引 当 金	633	36	133	670	767
一般貸倒引当金	322	18	87	341	410
個別貸倒引当金	310	18	46	329	356
特定海外債権引当勘定	-	-	0	-	0

## 13. 業種別貸出状況等

【単体】 - 部分直接償却実施後 -

## (1) 業種別貸出金

(単位：億円、%)

	19年3月末		18年9月末		18年3月末	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	63,771	100.00	63,470	100.00	61,478	100.00
製造業	4,841	7.59	4,787	7.54	4,522	7.36
農業	89	0.14	90	0.14	95	0.15
林業	0	0.00	0	0.00	0	0.00
漁業	17	0.03	16	0.03	14	0.02
鉱業	97	0.15	101	0.16	100	0.16
建設業	2,991	4.69	2,896	4.56	2,817	4.58
電気・ガス・熱供給・水道業	87	0.14	78	0.12	84	0.14
情報通信業	346	0.54	307	0.49	220	0.36
運輸業	1,816	2.85	1,809	2.85	1,786	2.91
卸売・小売業	5,790	9.08	5,746	9.05	5,585	9.08
金融・保険業	2,340	3.67	2,383	3.76	2,466	4.01
不動産業	14,525	22.78	14,197	22.37	13,553	22.05
各種サービス業	5,794	9.09	5,681	8.95	5,444	8.86
国・地方公共団体	3,407	5.34	4,631	7.30	4,334	7.05
その他(個人)	21,623	33.91	20,741	32.68	20,452	33.27

## (2) 業種別リスク管理債権

(単位：億円、%)

	19年3月末		18年9月末		18年3月末	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,016	100.0	2,149	100.0	2,261	100.00
製造業	80	3.97	85	3.96	84	3.72
農業	7	0.39	9	0.45	11	0.50
林業	-	-	-	-	-	-
漁業	1	0.07	1	0.07	1	0.07
鉱業	-	-	-	-	0	0.00
建設業	105	5.23	120	5.63	139	6.16
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.00	0	0.00	-	-
情報通信業	4	0.22	4	0.19	4	0.18
運輸業	130	6.48	126	5.89	126	5.58
卸売・小売業	277	13.76	297	13.86	366	16.22
金融・保険業	4	0.24	5	0.24	6	0.27
不動産業	683	33.89	732	34.06	769	34.02
各種サービス業	307	15.25	337	15.71	365	16.17
国・地方公共団体	-	-	-	-	-	-
その他(個人)	413	20.50	428	19.94	387	17.11

## 14. 国別貸出状況等

## (1) 特定海外債権残高 【単体】

(単位：億円、ヶ国)

	19年3月末			18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
債権額	-	-	6	-	6
対象国数	-	-	1	-	1

## (2) アジア向け貸出金 【単体】

(単位：億円)

	19年3月末			18年9月末	18年3月末
		18年9月末比	18年3月末比		
中 国	4	0	0	4	4
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
香 港	66	17	30	49	36
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
台 湾	25	2	10	23	15
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
インド	11	11	11	-	-
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
インドネシア	6	0	0	6	6
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
韓 国	7	5	9	13	17
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
マレーシア	44	11	23	33	21
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
フィリピン	-	0	0	0	0
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
タイ	0	0	0	-	-
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
合 計	168	37	66	130	101
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-

## (3) 中南米主要諸国及びロシア向け貸出金 【単体】

該当ありません。

## 15. 有価証券の評価損益

## (1) 有価証券の評価基準

## 【単体】、【連結】

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)

## (参考) 金銭の信託中の有価証券

運用目的の金銭の信託	時価法(評価差額を損益処理)
その他の金銭の信託	時価法(評価差額を全部純資産直入)

## (2) 評価損益

## 【単体】

(単位:億円)

	19年3月末					18年9月末			18年3月末		
	評価損益	9月末比	3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	1	0	2	0	1	1	0	1	3	0	4
その他有価証券	965	151	23	1,262	297	813	1,147	333	942	1,416	474
株式	1,216	107	139	1,235	18	1,109	1,119	10	1,356	1,367	11
債券	175	7	111	8	183	167	11	179	286	2	289
その他	75	52	51	19	95	128	15	143	126	45	172
うち外国債券	74	39	82	7	81	113	6	119	156	5	161
合計	964	152	26	1,263	298	812	1,147	335	938	1,416	478

(注) 1. 時価のある子会社・関連会社株式は、該当ありません。

2. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の信託受益権を含めております。

3. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表と取得価額との差額を計上しております。

## 【連結】

(単位:億円)

	19年3月末					18年9月末			18年3月末		
	評価損益	9月末比	3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	1	0	2	0	1	1	0	1	3	0	4
その他有価証券	987	154	19	1,285	297	833	1,167	334	968	1,443	474
株式	1,238	109	143	1,257	18	1,128	1,139	11	1,382	1,394	12
債券	175	7	111	8	183	167	11	179	286	2	289
その他	75	52	51	19	95	128	15	143	126	45	172
うち外国債券	74	39	82	7	81	113	6	119	156	5	161
合計	986	154	21	1,285	299	831	1,167	336	964	1,443	478

(注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の信託受益権を含めております。

2. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表と取得価額との差額を計上しております。